

総合工学委員会
原子力安全に関する分科会（第24期・第6回） 議事録

1. 日 時 平成30年10月22日（月）10:00～12:00

2. 場 所 日本学術会議5階 5-C(1) 会議室

3. 出席者（敬称略）

【委員】矢川元基、柘植綾夫、大倉典子、上坂充、佐倉統、柴田徳思、関村直人、竹田敏一、
松岡猛、向殿政男、森口祐一、山地憲治、成合英樹、野口和彦

【事務局】柳原情子

4. 配布資料

資料1	前回議事録（案）
資料2	原子力総合シンポジウム2018プログラム
資料3	「学術の動向」特集企画案
資料4	朝日新聞社説
資料5	研究用原子炉の在り方検討小委員会報告

5. 議 事

1) 前回議事録の確認

- ・第5回の議事録が、本会合にて承認された。
- ・今回以降の議事録に関しては、速やかに公開するために、議事録案をメールで回覧し主たる箇所の内容を確定した後、最終確定は委員長に一任することとなった。

2) 小委員会からの報告

(1) 研究用原子炉の在り方検討小委員会

- ・資料5を用いて、上坂委員より小委員会の報告が行われた。
- ・米国の研究炉の規制の状況に関して、質疑が行われ、検査に関する主観を排除する方向で進められているとの紹介等があった。詳細は現地の調査で確認することとなった。
- ・研究炉のマスタープランに関しては、原子力連絡小委員会と調整して合同で検討することとなった。
- ・次回の小委員会は、12月に開催の予定である。

(2) 原子力連絡小委員会

- ・山地委員より、小委員会は、春から開催していない旨の報告があり、今後研究炉のマスタープランに関して、研究用原子炉の在り方検討小委員会と合同で開催していく旨が確認された。

(3) 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会

- ・森口委員より、前回の分科会からの期間の活動に関しては、新たな活動は行っていない旨の報告があった。

(4) 福島第一原発事故調査に関する小委員会

- ・松岡委員長より分科会内査読に関する検討を行っているとの報告があった。
- ・査読の意見に関する質疑が行われ、津波調査の位置づけを明確にした上で、現報告案の内容に沿って、速やかに報告書を仕上げる方針が確認された。

3) 今後の進め方に関する議論

(1) 原子力総合シンポジウム 2018

- ・「学術の動向」特集案の目次が確認された。
- ・巨大噴火に関する原子力の安全に関する社会の視点に関する議論がなされ、IAEA や電気協会のガイドラインに関する説明や質疑が行われた。
- ・ハザード、フラジリティ、安全を総合的に整理する必要が提言され、企画分科会への提案を念頭に置き議論を継続することとなった。
- ・シンポジウムの進め方に関して確認がなされた。

4) その他

(1) 次回日程

2019年2月27日 10時～12時

以上